

今週（3月23日から3月27日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き堅調な調達ニーズを背景に、0.727~0.728%での出会いが中心となった。加重平均レートは月曜日から木曜日まで0.727%で推移し、27日(金)も概ね同水準での取引が続いた。

ターム物は、期内物と期越え物で大きくレート水準が異なっており、期内物1Wで0.78~0.80%程度、3月末を跨ぐタームについては0.90%台から1%台での出会いも散見された。

日銀当座預金残高は、週初451兆円程度から始まり、25日に財政資金のまとまった支払いを受け455兆円程度まで増加し、その後は概ね同水準での推移となった。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物は、0.745~0.755%の出会いが中心となった。オファーサイドの勢いが一時的に鈍くなる展開も見られたが、引き続き付利近辺での推移となった。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンレートで水準が上昇した。

27日に実施された3M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産・ガス・卸売業・その他金融などの業態で大型発行が見られた。

市場発行残高は24兆円台半ば~後半程度で推移した。

発行レートについては、銘柄間で格差が広がっており、日銀適格銘柄の期内物で0.89~0.99%、4月エンド1・2Wで0.95~1.05%、1M0.97~1.15%での出会いが見られ、レンジはワイドであった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/23 (月)	51,515.49	2.305	159.47	0.727	0.754	4,507,100
3/24 (火)	52,252.28	2.265	158.58	0.727	0.750	4,507,400
3/25 (水)	53,749.62	2.250	158.63	0.727	0.746	4,537,300
3/26 (木)	53,603.65	2.270	159.43	0.727	0.745	4,554,100
3/27 (金)	53,373.07	2.370	159.53	0.727	0.750	4,553,400

来週（3月30日から4月3日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要があります。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/30 (月)	決定会合における主な意見(3月18,19日分 8:50)		
3/31 (火)	3月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 2月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 2月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y物 4/1発行 28,000億円	3月の米CB消費者信頼感指数 3月のシカゴPM景況感指数 1月のS&Pケースシラー住宅価格指数 3月のユーロ圏消費者物価指数速報値 10-12月期の英GDP確報値
4/1 (水)	3月調査の日銀短観(概要及び要旨、日銀 8:50)		3月のISM製造業景況指数 2月の米小売売上高 1月の米企業在庫
4/2 (木)	3月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y物 4/3発行 26,000億円	2月の米貿易収支
4/3 (金)	4月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TDB3M 4/6発行 46,000億円	3月の米雇用統計 3月のISM非製造業景況指数 Euro, London祝日(Good Friday)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/30 (月) 日銀予想	600	30,000	30,600	国債補完	3,900		3,900	34,500	TDB3M発行▲47,000償還43,000
3/31 (火) 弊社予想	700	22,000	22,700				0	22,700	
4/1 (水) 弊社予想	500	▲26,000	▲25,500	全店共通	▲8,000		▲8,000	▲33,500	2Y発行▲28,000 償還12,000
4/2 (木) 弊社予想	300	8,000	8,300				0	8,300	
4/3 (金) 弊社予想	200	▲26,000	▲25,800				0	▲25,800	10Y発行▲26,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、年度末越えのO/N物でレートが上下する可能性があるが、基本的には0.727%程度での出合いが続くことが予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、0.700~0.755%レンジでの推移が予想される。短国市場は、3日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、期末要因が剥落し、4月発行となるためレート動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では30日(月)に決定会合における主な意見(3月18,19日分)が公表されるほか、31日(火)に3月の都区部消費者物価指数、2月の完全失業率・有効求人倍率、2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、1日(水)に3月調査の日銀短観(概要及び要旨)などが公表予定である。海外では31日(火)にユーロ圏で3月の消費者物価指数速報値、1日(水)に米国で3月のISM製造業景況指数、2月の米小売売上高、2日(木)に2月の米貿易収支、3日(金)に3月の米雇用統計、3月のISM非製造業景況指数などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要があります。)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。